

岡山県立倉敷天城高等学校

理数科ニュース

第3号

7月2日発行

発行：理数科

～科学英語実験プログラム～

主催 岡山県立倉敷天城高等学校
期日 令和3年6月17日（木）13：50～15：30（6・7限）
会場 岡山県立倉敷天城高等学校 第1・2化学教室
講師 岡山大学教育学部 喜多雅一 先生，岡山大学大学院の留学生3名

「次世代を担う高校生に、第一線で活躍する科学者による講義、体験的実習等を通して、科学技術に対する関心を高め、創造性、知的好奇心・探究心の育成を図り、英語でのコミュニケーションによって科学実験を遂行する能力を育成する。」という目的で、毎年理数科1年生を対象に行われている行事です。本年度は、岡山大学から特命教授 喜多雅一先生、岡山大学留学生 HAYIBOR Kennedy Mawunya 先生、Melissa Velasquez 先生、Carlos Arbaiza 先生をお呼びして、授業をしていただきました。

授業の内容は、大根中の電解質量を電気伝導度計で測定する内容でした。表計算ソフト Excel を使って KC1 水溶液で検量線をつくる作業を行い、KC1 の濃度に対する電気伝導度の最小二乗計算をして式をつくりました。その後、大根中の KC1 濃度を出します。授業は、すべて英語で行われ、生徒は熱心に取り組んでいました。

